

信州大学附属図書館では、2007年5月から2008年3月までの間、『けい太のブログ』と題して、猫「けい太」の近況を伝えるブログを運営しました(*1)。本稿では、その経緯や反響などをお伝えします。

1. 『けい太のブログ』の意図

図書館と猫という組み合わせは、米国スペンサー公共図書館の「デューイ」(*2)に代表されるように欧米ではポピュラーです。ただ、『けい太のブログ』に関しては、そのことを当初はそれほど意識していませんでした。

けい太が学内で見かけられるようになったのは2006年の夏ごろからですが、寒さをしのげるように簡易ハウスを図書館の職員が設置したり、暖房の効いた館内に入れてやったりしているうちに、図書館の周辺にすることが多くなってきました。

そうした様子を、ある学生が地元紙の記者に知らせたことで、新聞社の取材があつて記事(*3)になりました。これをきっかけに学内外から、けい太についての問い合わせが多く来るようになったため、信州大学らしくネットワークでけい太の近況をお知らせするということが、ブログを設けることにしました。このように、図書館の宣伝やキャラクターというよりは、けい太という猫の近況を知らせるという意味合いが強い取り組みでした。

2. 『けい太のブログ』の開始～運用の経緯

ブログの開設を決めたものの、あまり職員の手も割けないという事情もあり、ブログの執筆は図書館でアルバイトをしていた大学院生に依頼しました。もともとけい太の面倒をよく見ていたのが縁で図書館でアルバイトをするようになったこともあつて、精力的に取り組んでくれました。最初の記事が書かれたのは2007年5月8日です。

ブログの内容は、時々イベントの告知等で職員から指示を出す以外は、担当者の裁量に任せており、けい太の日常の姿を知らせるものがほとんどでした。学内外の読者から、コメントやメールがたびたび寄せられ、学内の他部局の職員との間で『けい太のブログ』が話題に上がることもしばしばありました。

アクセスログによると、運用中は平均して1日に700回ほどのアクセスがありました。1日の最高は9月20日の3730アクセスで、各種メディアに取り上げられた直後にはアクセスが急増しています。ブログ開設以降、取り上げたメディアは以下の通りです。

インターネット： カレントアウェアネス-R 2007/8/10

新聞： 2007/7/27 (市民タイムス(*4)) , 8/10 (信濃毎日新聞) , 9/20 (読売新聞) , 2008/1/12 (信濃毎日新聞)

テレビ： 2007/8/2 (ABN)

このように注目度の高い取り組みではありましたが、将来的な維持の可能性を考慮して、図書館公式としての『けい太のブログ』は2008年3月いっぱい終了しました。現在は非公式ですが、『続・けい太のブログ』(*5)が同じ担当者によって運営されています。

3. 『けい太のブログ』の意義と課題

前項で記したようにメディアへの露出度は非常に高く、信州大学や図書館の知名度向上

には貢献したものと思われます。

しかし、図書館の入館者数や貸出冊数、図書館本体のウェブページ等の利用統計については、例年とさほど変化が見られませんでした。その点から見ると、本当の意味での図書館のアピールや利用者の獲得に必ずしも結びついたとはいえません。ブログの内容面で、図書館の利用につながる企画を職員側からもっと積極的に出していけばよかったというのが反省点です。

一方で、附属図書館が中心となって実施した小谷コレクション記念事業(*6)の PR など、一般向けの広報においては、『けい太のブログ』で紹介したのをきっかけに、記念事業のことを知ったという人がいた等、一定の役割を果たしたと思われます。図書館や大学の公式サイトをふだん見ていない層にも情報を届けられたという意味で、有効に機能したのではないのでしょうか。

その他、生き物ですので、日々の餌や病気・怪我の手当てなどの世話が 24 時間・365 日発生します。今回、餌は多くの方の好意によってほぼ充足していましたが、一部の職員に負担がかかっていたことも事実です。同様の取り組みを行う場合、最も考慮が必要な点だと思います。

4. おわりに

けい太の存在は、信州大学の『大学案内 2008-2009』にも登場するなど、依然として知名度は高いです。今後もけい太が皆さんに愛されることを願ってやみません。

図書館としても、今回のブログ運営で学んだことを、次の展開に生かせるように努めていきたいと思います。

ブログは良くも悪くも執筆者の個性に左右される部分が大きいいと思います。その意味では、今回の担当者を見つけることができ、ブログも好評を得ることができたのは幸運だったと思います。最後にブログを担当した学生からのコメントを紹介します。

“けい太が有名になる前は、彼は度々校舎 1 階の私の研究室に入ってきていました。勉強中に、膝の上に乗って寝ていたり、私にとって、けい太は十分に大切な存在となっていました。しかし、いざブログを書くとなると、けい太をどのように発信していけばいいのか分からず、最初は戸惑いました。ペットを飼ったことがないため、猫の習性も生態も何も分からなかったのです。特に、けい太を見つけやすい図書館事務室にいる場合、彼は寝ていることが多いのです。寝姿ばかりでは、読者が飽きてしまうのではないかと不安がありました。そんな時に読者の方から寄せられる、「癒される」「かわいい」などのコメントが励みとなり、ここまでブログを続けることができています。

またブログを書く上で、最も気をつけている点があります。それはブログ読者の様々な気持ちを考えて書くということです。このことが、今でも一番大変かもしれません。しかし、相手の気持ちになって記事を書くという経験は、何よりも私自身にとって非常に勉強となっています。けい太の世話に賛成してくれる人もいれば、社会的な問題から反対する人がいることも承知しています。しかし、『けい太のブログ』の読者、またコメントを下さ

る方に不快な思いはしてほしくはありません。単純に、けい太の姿を見て、元気なことに安心し、癒されると言っておられる方が多いからこそ、私の役割は、けい太のありのままの姿を発信することだと考え、それだけに徹底して書くようにしています。

『けい太のブログ』を書き始めて、お世話をして下さる図書館職員の方をはじめ、多くの人との出会いがありました。みんなが、けい太という一匹の猫を気にかけてくれ、できる限りの愛情をかけてくださっていることを知りました。また私がこうしてブログを続けていけるのも、日々図書館職員の方がけい太を見守ってくれるおかげです。『けい太のブログ』を通して、私自身が、人の温かさ、優しさ、そして感謝する気持ちを学んでいます。”

注

*1 <http://kta.shinshu-u.ac.jp/>

*2 図書館ネコ「デューイ」、その生涯を終える（米国）. カレントアウェアネス・E
<http://current.ndl.go.jp/e574> (accessed 2008-08-07)

*3 信濃毎日新聞. 2007年1月27日朝刊. 地域（中信）面

*4 長野県中信地域の日刊紙。発行部数 67,752 部（2008年4月現在）

*5 <http://ameblo.jp/shindai-kta/>

*6 「岳都松本 小谷コレクション展 ～信州大学の名品～」と「川井郁子ヴァイオリンコンサート」の2イベントから成る。<http://kotani.shinshu-u.ac.jp/>